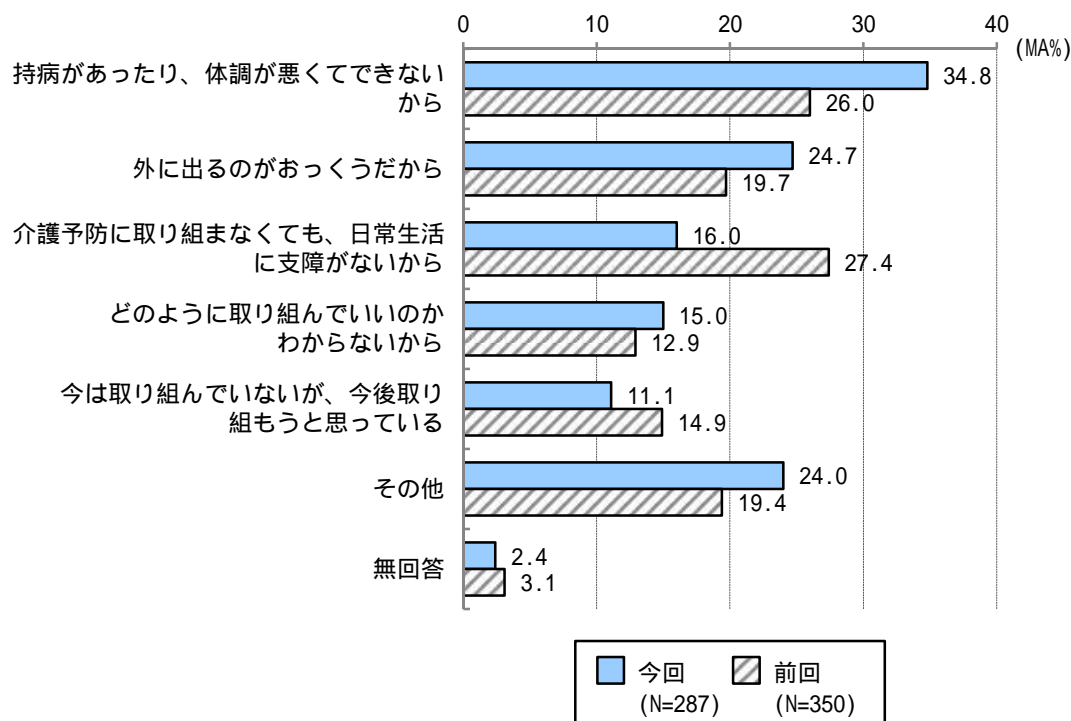


問12-1 介護予防に取り組んでいない理由

【問12で「10 取り組んでいない」に つけた方のみお答えください。】
 あなたが、介護予防について、取り組んでいない理由は何ですか。(はいくつでも)

【図12-1 介護予防に取り組んでいない理由】



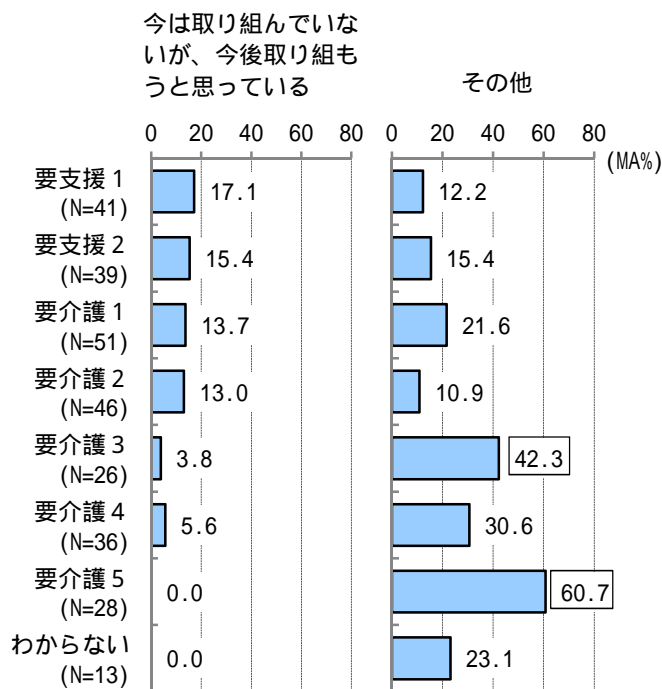
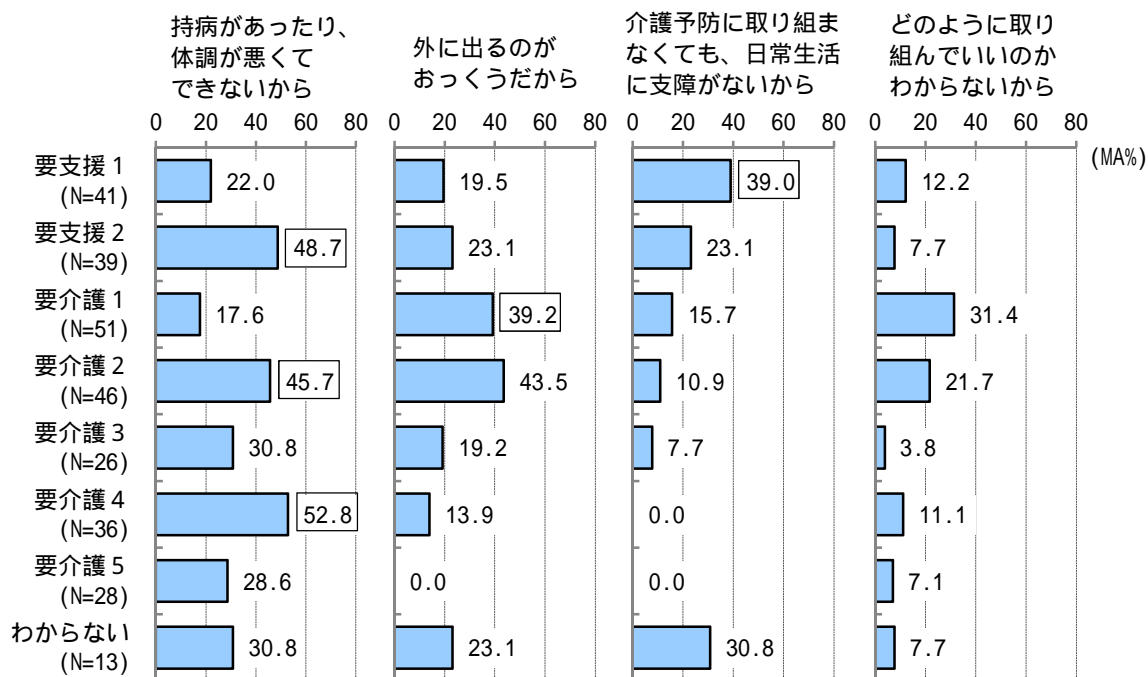
介護予防に取り組んでいない理由については、「持病があったり、体調が悪くてできないから」が34.8%で最も多く、次いで「外に出るのがおっくうだから」が24.7%、「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が16.0%となっている。

なお、「その他」として、「入院した」、「高齢・重度介護のため寝たきり、動けない」などがあつた。

前回調査と比較すると、「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が11.4ポイント減少し、「持病があったり、体調が悪くてできないから」が8.8ポイント増加している。(図12-1)

要介護度別で見ると、要支援1は「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が、要介護1は「外に出るのがおっくうだから」が、要支援2と要介護2・4は「持病があったり、体調が悪くてできないから」が、それぞれ最も多くなっている。また、要介護1・2では「外に出るのがおっくうだから」と「どのように取り組んでいいのかわからないから」が他の要介護度に比べ高くなっている。(図12-1-a)

【図12-1-a 介護予防に取り組んでいない理由(要介護度別)】



(6) 介護保険制度についての意見・要望等(自由記述)

介護保険制度についてのご意見・ご要望等を次の欄に記入してください。

【介護保険制度について】

- ・制度がころころ変わりすぎる。見直しをしないといけないのは理解できるが、先を見越して決めた方がよい。あまりころころ変わると、介護保険制度自体の信頼感も低くなる。
- ・手続きが複雑で大変だった。スピード感を持って対応してほしい。
- ・要介護認定の更新期間が短い。3～5年程度がいいと思う。
- ・要介護認定の線引・基準がよくわからない。
- ・全般に介護認定結果に疑問を感じることもある。
- ・サービスを利用していない人に少しでも還元していただきたい。
- ・年金が少なく、介護保険制度を有効に利用できない。

【介護保険サービスについて】

- ・介護保険サービスの種類とその内容がわからない。ケアマネジャーの勧めに従っている状態である。要介護度と点数、金額の関係がわからない。
- ・以前、デイサービスを利用したが、人によって同一のレベルではないはずなのに、同じ内容のサービスであった。自分はさほど他人の手を借りるほどではなかったので、受けるサービスがなかった。長く利用している人たちのリズムがあり、新人にはなじみにくい雰囲気であった。
- ・低額で入所できる施設がないため、やむを得ず家庭に居るのが現状。
- ・自宅に訪問してくれる医師の数を増やしてほしい。
- ・訪問の歯科医のサービスを希望する。
- ・義務的でなく介護される者の身になって親切にしてほしい。

【その他】

- ・今のところは利用していないが、今後利用しなければならなくなればお世話になりたいと思う。
- ・今現在は、出来る限り自分で出来ることは身内の助けを受けながら生活している。しかし、(身内のアクシデント等で)いつ突然、身内からの介護が受けられなくなることが心配なため、介護保険サービスを受ける権利は保持したい。
- ・今は介護してくれる家族がいるがこれからは制度も変わるし、いろいろな面でもとても不安。
- ・知らないことが多く、どう使えばよいのかが分からないことがあるので、マニュアル本などを出してほしい。
- ・要望に対してそれに応じられる十分な体制が取れていない。

介護者調査 編

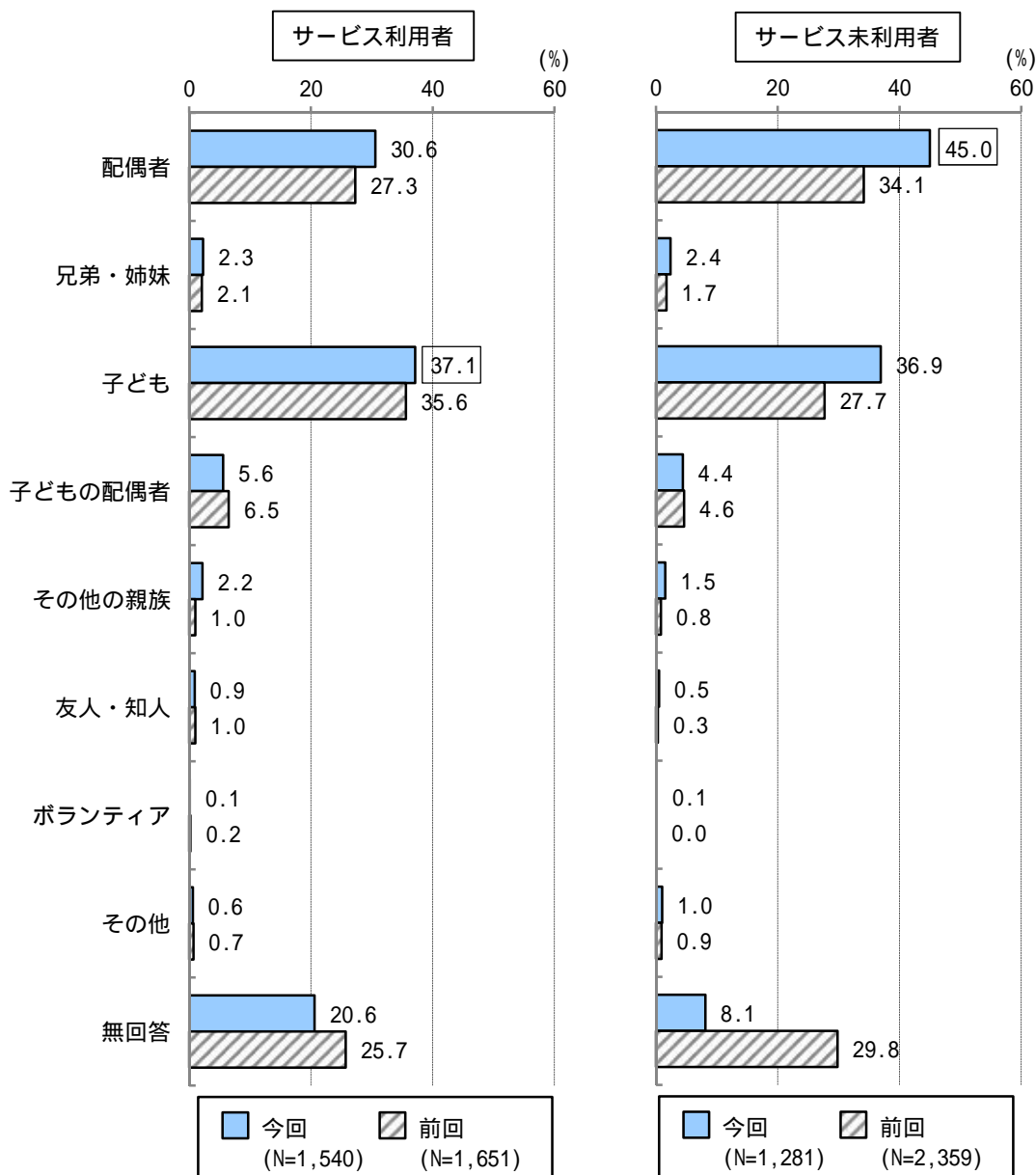
4 介護者調査結果

(1) 介護者の基本属性

問14(13) 本人との関係

主な介護者は、ご本人とはどのような関係ですか。(はひとつ)

【図14(13) 本人との関係】



本人との関係について、サービス利用者は「子ども」(37.1%)、サービス未利用者は「配偶者」(45.0%)が、それぞれ最も多くなっている。

前回調査と比較すると、サービス利用者は「配偶者」が3.3ポイント増加、「子ども」が1.5ポイント増加している。一方、サービス未利用者では「配偶者」が10.9ポイント増加、「子ども」が9.2ポイント増加している。(図14(13))

世帯の状況別でみると、サービス利用者・未利用者ともに、夫婦のみ世帯（夫婦のみで、配偶者が65歳以上と、夫婦のみで、配偶者が65歳未満）は「配偶者」が最も多く、それ以外の世帯では「子ども」が最も多くなっている。（表14(13)-a）

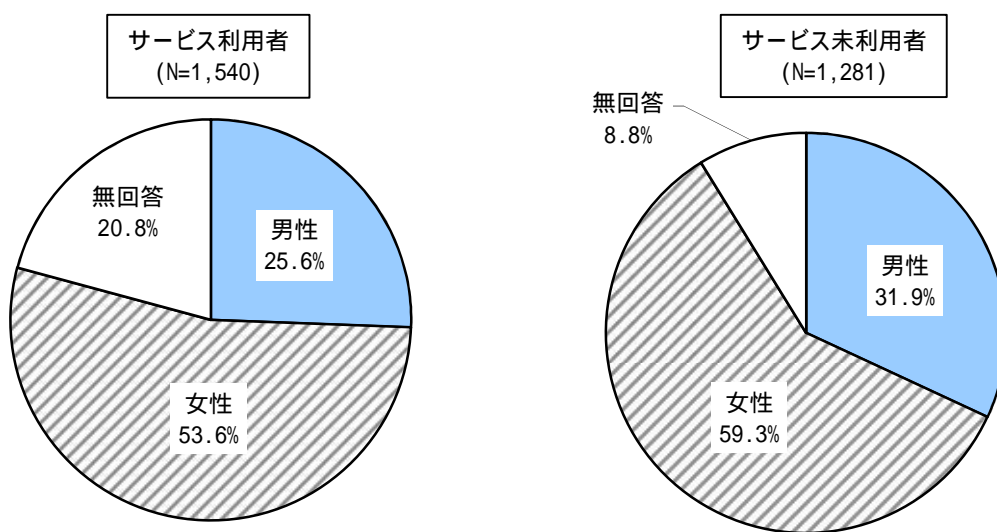
【表14(13)-a 本人との関係（世帯の状況別）】

		N	配偶者	兄弟・姉妹	子ども	子どもの配偶者	その他の親族	友人・知人	ボランティア	その他	無回答
サービス利用者	単身（ひとり暮らし）	397	1.5	3.5	41.8	5.3	3.5	2.5	0.5	1.3	40.1
	夫婦のみで、配偶者が65歳以上	446	76.7	0.7	9.9	1.8	0.4	0.2	0.0	0.2	10.1
	夫婦のみで、配偶者が65歳未満	40	82.5	0.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
	その他の世帯で全員65歳以上	102	7.8	10.8	53.9	5.9	6.9	0.0	0.0	1.0	13.7
	その他の世帯	492	14.2	1.6	56.7	9.3	2.0	0.4	0.0	0.4	15.2
サービス未利用者	単身（ひとり暮らし）	178	1.7	3.9	71.3	5.1	4.5	1.1	0.0	2.2	10.1
	夫婦のみで、配偶者が65歳以上	500	82.4	0.2	7.4	0.6	0.0	0.4	0.2	0.0	8.8
	夫婦のみで、配偶者が65歳未満	52	63.5	0.0	15.4	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	17.3
	その他の世帯で全員65歳以上	61	11.5	19.7	59.0	1.6	4.9	0.0	0.0	0.0	3.3
	その他の世帯	440	23.9	2.3	56.6	9.1	1.1	0.7	0.0	2.0	4.3

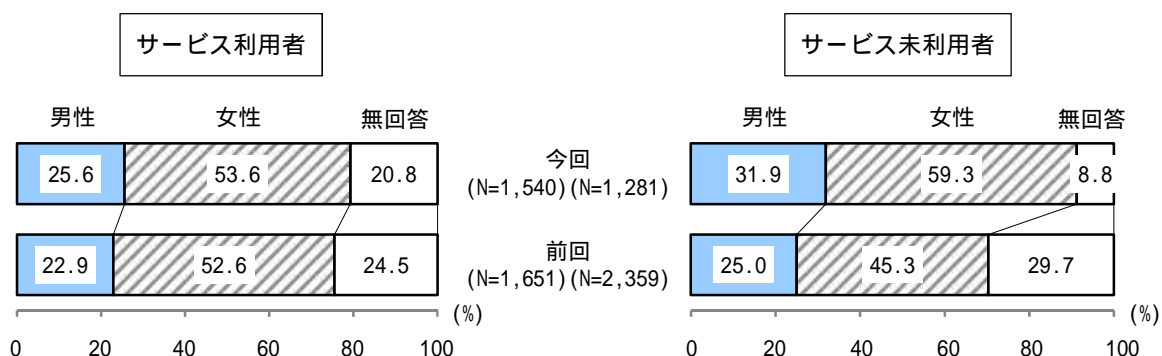
問15(14) (1) 介護者の性別

主な介護者の性別、年齢、居住地についておたずねします。(それぞれ はひとつ)

【図15(14)(1) 介護者の性別】



【図15(14)(1)-1 介護者の性別(比較)】



介護者の性別について、サービス利用者では、「男性」が25.6%、「女性」は53.6%となっており、サービス未利用者では、「男性」が31.9%、「女性」は59.3%となっている。サービス利用の有無に関わらず、介護者は「女性」のほうが多い。(図15(14)(1))

前回調査と比較すると、サービス利用者では、「男性」が2.7ポイント増加している。サービス未利用者では、「男性」が6.9ポイント、「女性」が14.0ポイント増加している。(図15(14)(1)-1)

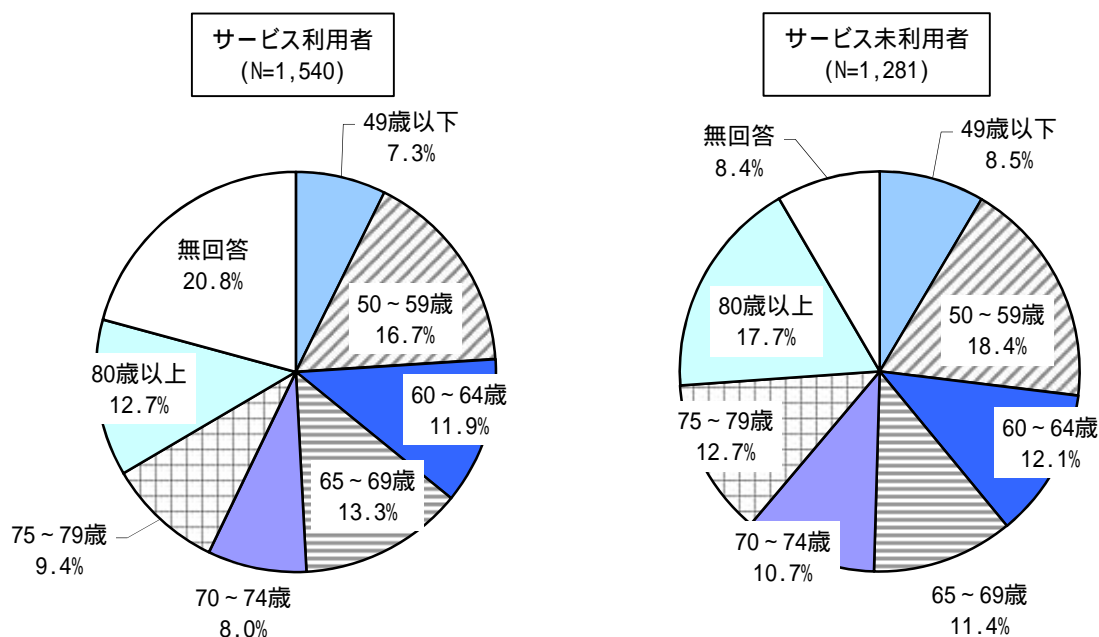
本人との関係別でみると、サービス利用者の介護者では、「男性」は“配偶者”が最も多く、「女性」は“子ども”が最も多くなっている。一方、サービス未利用者の介護者では、男女ともに“配偶者”が最も多くなっている。(表15(14)(1)-a)

【表15(14)(1)-a 介護者の性別(本人との関係別)】

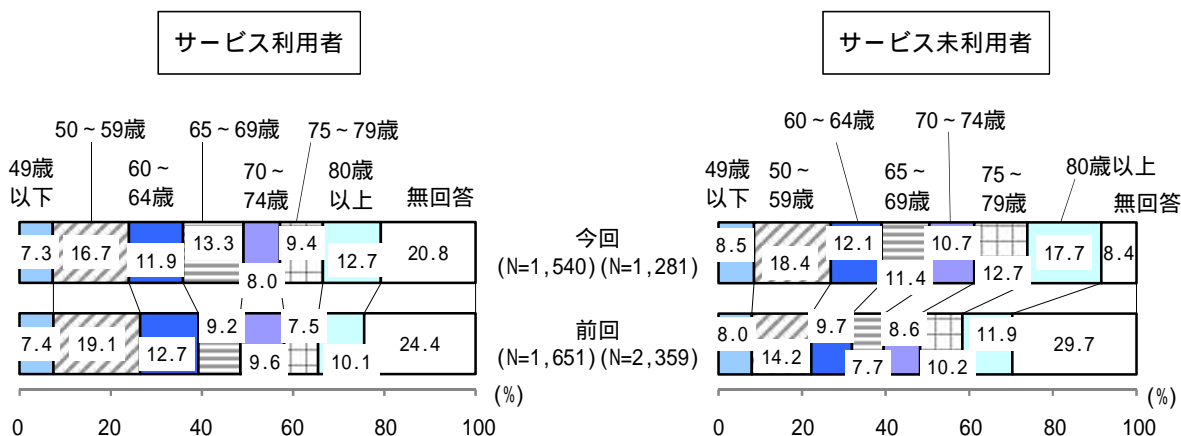
		N	配偶者	兄弟・姉妹	子ども	子どもの配偶者	その他の親族	友人・知人	ボランティア	その他	無回答
サービス利用者	男性	394	48.5	1.5	42.6	0.5	3.0	1.5	0.3	0.3	1.8
	女性	826	33.4	3.6	47.5	10.2	2.7	0.7	0.0	0.7	1.2
サービス未利用者	男性	409	56.5	1.5	39.1	0.0	1.2	0.2	0.0	0.5	1.0
	女性	759	44.5	3.3	40.2	7.4	1.8	0.7	0.1	0.7	1.3

問15(14) (2) 介護者の年齢

【図15(14)(2) 介護者の年齢】



【図15(14)(2)-1 介護者の年齢(比較)】



介護者の年齢について、サービス利用者の介護者は「50～59歳」が16.7%で最も多く、次いで「65～69歳」が13.3%、「80歳以上」が12.7%となっている。一方、サービス未利用者では「50～59歳」が18.4%で最も多く、次いで「80歳以上」が17.7%、「75～79歳」が12.7%となっている。(図15(14)(2))

前回調査と比較すると、サービス利用者は「65～69歳」が4.1ポイント増加しており、サービス未利用者では「80歳以上」が5.8ポイント増加している。(図15(14)(2)-1)

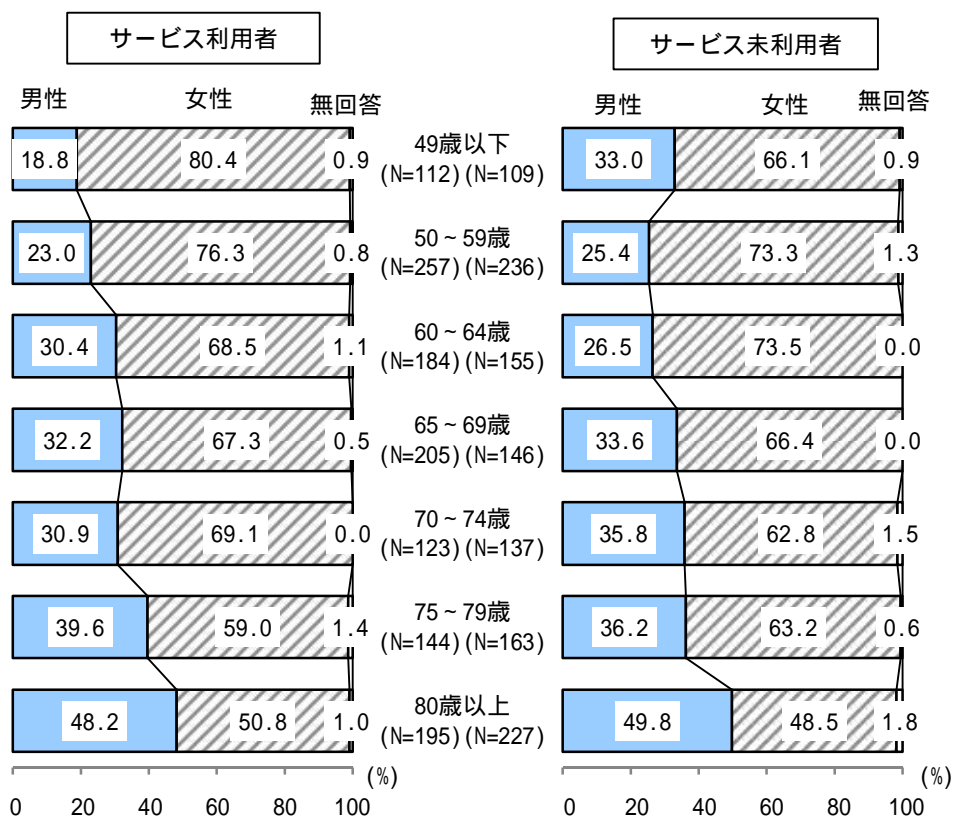
本人との関係別で見ると、サービス利用者の介護者では、69歳以下は“子ども”が最も多く、70歳以上は“配偶者”が最も多くなっている。一方、サービス未利用者の介護者では、64歳以下は“子ども”が最も多く、65歳以上は“配偶者”が最も多くなっている。(表15(14)(2)-a)

【表15(14)(2)-a 介護者の年齢(本人との関係別)】

		N									(%)
			配偶者	兄弟・姉妹	子ども	子どもの配偶者	その他の親族	友人・知人	ボランティア	その他	無回答
サービス利用者	49歳以下	112	8.0	0.0	72.3	9.8	7.1	1.8	0.0	0.9	0.0
	50～59歳	257	5.4	0.4	79.0	12.1	2.7	0.4	0.0	0.0	0.0
	60～64歳	184	9.8	1.1	71.7	11.4	1.6	1.6	0.0	0.5	2.2
	65～69歳	205	31.7	2.9	53.7	8.8	2.0	0.0	0.0	0.5	0.5
	70～74歳	123	65.9	9.8	15.4	0.0	4.1	0.8	0.8	0.8	2.4
	75～79歳	144	84.0	2.8	3.5	1.4	2.1	1.4	0.7	2.1	2.1
	80歳以上	195	81.5	5.1	5.6	1.5	2.1	1.5	0.0	0.0	2.6
サービス未利用者	49歳以下	109	2.8	1.8	74.3	11.9	5.5	0.9	0.0	0.9	1.8
	50～59歳	236	5.9	0.4	80.9	11.0	1.3	0.4	0.0	0.0	0.0
	60～64歳	155	18.1	1.9	69.7	8.4	1.3	0.0	0.0	0.6	0.0
	65～69歳	146	45.9	1.4	45.2	2.7	2.7	0.7	0.0	1.4	0.0
	70～74歳	137	83.2	5.1	8.0	0.0	0.7	0.7	0.7	0.0	1.5
	75～79歳	163	90.2	4.9	2.5	0.0	0.6	0.6	0.0	0.6	0.6
	80歳以上	227	87.2	3.1	3.5	0.0	0.0	0.4	0.0	0.9	4.8

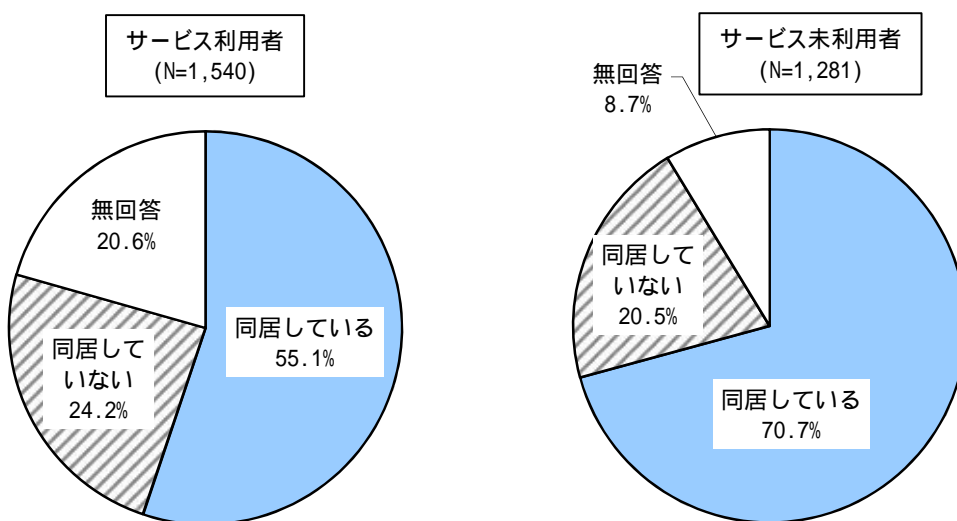
介護者の性別でみると、サービス利用者の介護者では、各年齢で“女性”のほうが多くなっているが、高齢になるほど“男性”の割合が上昇傾向にある。一方、サービス未利用者の介護者では、79歳以下は“女性”が過半数を占めているが、80歳以上になると男女ともに約半数となっている。(図15(14)(2)-b)

【図15(14)(2)-b 介護者の年齢（介護者の性別）】

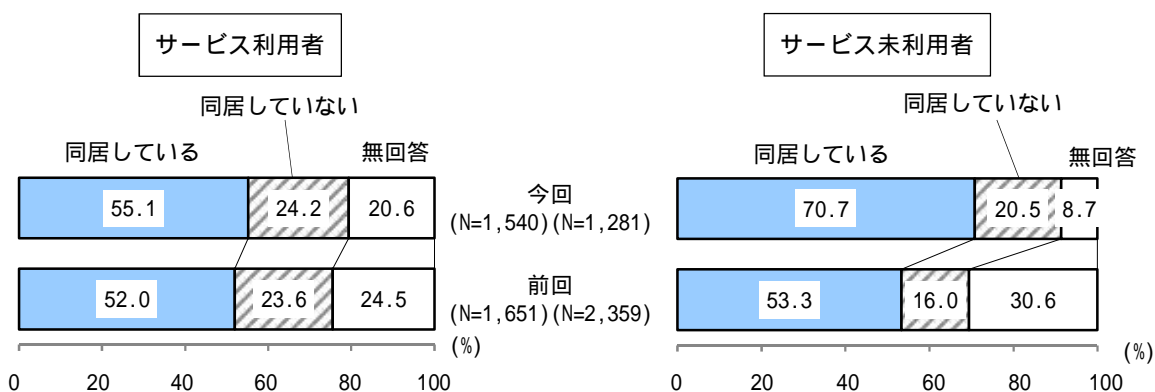


問15(14) (3) 同居の有無

【図15(14)(3) 同居の有無】



【図15(14)(3) -1 同居の有無 (比較)】

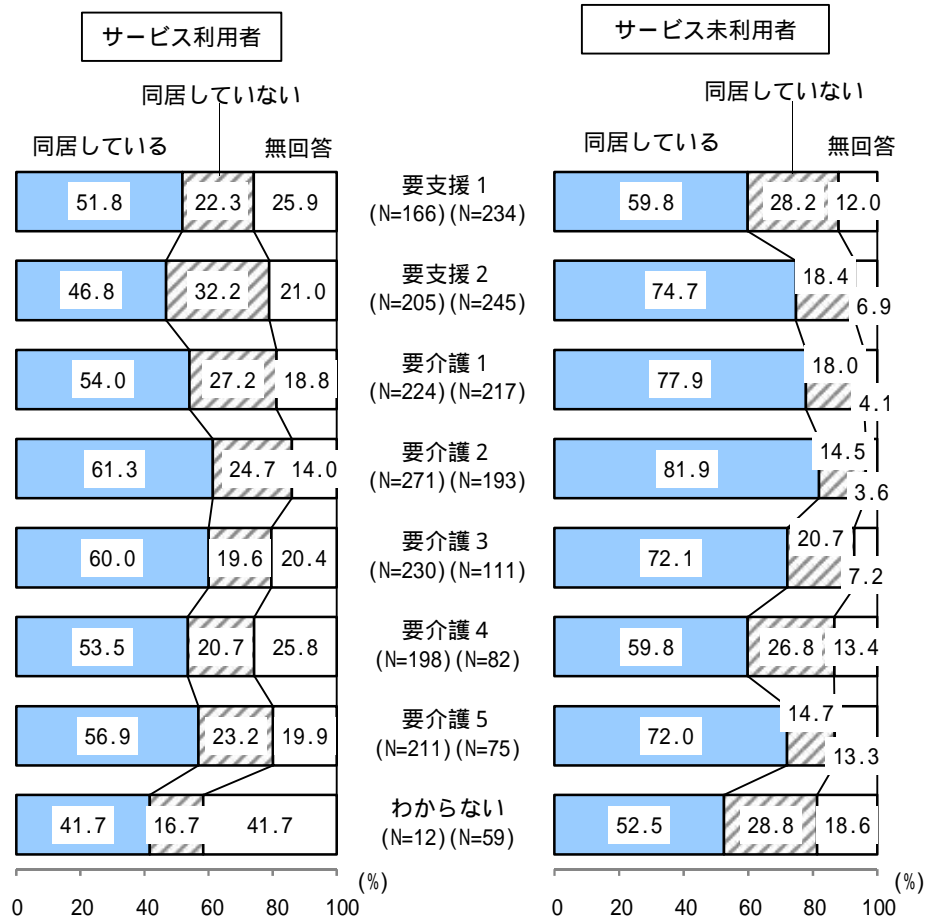


介護者の居住地について、サービス利用者の介護者は「同居している」が55.1%、「同居していない」は24.2%となっている。一方、サービス未利用者の介護者では「同居している」が70.7%、「同居していない」は20.5%となっている。(図15(14)(3))

前回調査と比較すると、サービス未利用者は「同居している」が3.1ポイント増加し、サービス未利用者では「同居している」が17.4ポイント増加している。(図15(14)(3) -1)

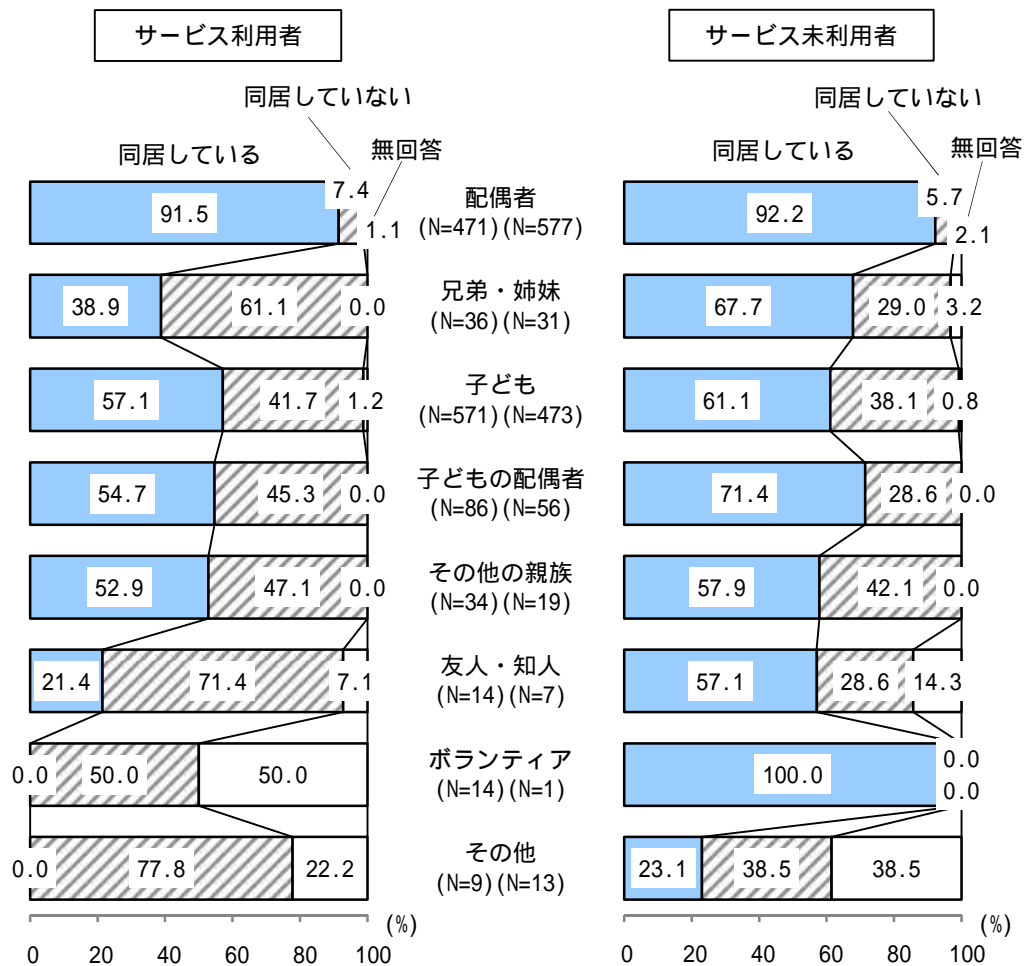
要介護度別でみると、サービス利用者・未利用者とも「同居している」が、要介護度に関わらず多くなっており、サービス利用者は要介護1～5で5～6割台を占め、サービス未利用者ではすべての要介護度で過半数を占めている。(図15(14)(3) -a)

【図15(14)(3) -a 同居の有無(要介護度別)】



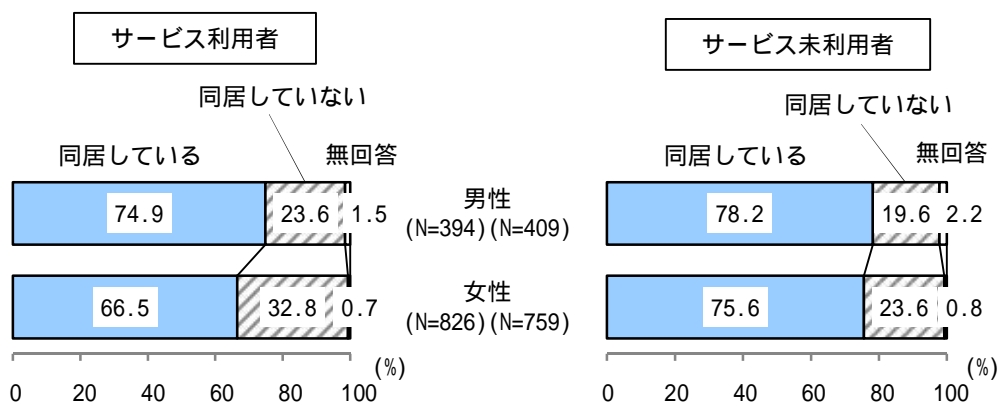
本人との関係別でみると、サービス利用者は、“子ども”・“子どもの配偶者”・“その他の親族”で「同居している」が5割台に対し、“兄弟・姉妹”は38.9%と低くなっている。一方、サービス未利用者は関係性に関わらず「同居している」が過半数を占めている。(図15(14)(3)-b)

【図15(14)(3) -b 同居の有無(本人との関係別)】



介護者の性別でみると、サービス利用者・未利用者の両介護者とも「同居している」は男性のほうの割合が高くなっている。(図15(14)(3)-c)

【図15(14)(3) -c 同居の有無(介護者の性別)】



介護者の年齢別で見ると、サービス利用者・未利用者の両介護者とも「同居している」が、介護者の年齢に関わらず半数以上を占めており、高齢になるほど割合が上昇傾向にある。(図15(14)(3) -d)

【図15(14)(3) -d 同居の有無(介護者の年齢別)】

